

令和7年度「議員と語っちゃオ！！」報告書

意見交換会名等	令和7年度「議員と語っちゃオ！！」	
日 時	令和7年11月8日(土)	グループ名: A
会 場	総合福祉センター 交流ひろば	
参加者	<u>市民 5名</u> <u>議員 5名</u>	
	進行係 井上 登	取りまとめ書記 牛山 実弦
参加議員名	高木 智子 岩波 万佐巳 大津 学	
	意見交換のテーマ 子育て安心、暮らしやすい街へ	
(市民) いただいたご意見・ご提案	回答	
1) 子育てについて <ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策は目立ったものがない。 ・キョロブラの地域の見回りについて。 ・心の教育 大脳生理学をひろげたい。 ・子どものショートステイが欲しい(子どもを預けられる居場所・宿泊も含む)。 ・母親教育も広がれば。 ・育児を学ぶ場をもっと用意してほしい。 ・親・子どものメディテーション(瞑想)の必要性(心が落ち着く)。 ・子育ての主体は? 保護者の意識に疑問。 ・学校の先生たちが疲れている。メンタルが強くなる方法が広がれば。個性を大事にし過ぎ。 ・学校以外の子どもの居場所を増やそう。 ・小学校1年生の壁や子どもが安心して過ごす場所をもっと欲しい。 2) 地域の課題について <ul style="list-style-type: none"> ・地域でかりんちゃんバスの廃線。 ・審議会等、市民代表の意見を聴く会のメンバー構成が偏っている。 	1) 子育てについて <ul style="list-style-type: none"> ・詳細を伺い委員会で検討。 ・12月定例会にて一般質問を行う。学校と教育委員会で検討工夫(わんわんパトロール・GPS)。 ・委員会で検討。 ・委員会で検討。 ・詳細を伺い委員会での検討。 ・委員会で学ぶ場の提供を部局に提言するため検討。 ・詳細を伺い委員会で検討。 ・講習会の開催を要望する。 ・詳細を伺い委員会での検討。 ・委員会にて、調査研究の対象にする。 ・調査研究の対象にする。 2) 地域の課題について <ul style="list-style-type: none"> ・12月定例会にて一般質問を行う。チョイソコかりんちゃんの利用範囲を広げる事を検討。 ・一般質問にて指摘しているが、選出方法を工夫すると答弁をもらっている。 	

令和7年度「議員と語っちゃオ!!」報告書

意見交換会名等	令和7年度「議員と語っちゃオ!!」	
日時	令和7年11月8日(土)	グループ名: B
会場	総合福祉センター 交流ひろば	
参加者	<u>市民 10名</u> <u>議員 5名</u>	
	進行係 近藤 一美	取りまとめ書記 横山 真
参加議員名	吉澤 美樹郎 森山 博美 藤森 綾子	
	意見交換のテーマ 観光と地域の元気づくり	
(市民) いただいたご意見・ご提案	回答	
<p>1) 観光環境・景観・施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖周辺にお店や観光スポットが少ない。 ・諏訪湖周に花畑など観光要素が少ない。 ・石彫公園や片倉館、美術館などの観光拠点が十分に活用されていない。 ・湖畔イルミネーションが減少し、寂しくなった。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖畔イルミネーションや花畑の復活・強化。 ・湖上噴水や間欠泉復活など、観光の目玉づくり。 ・諏訪湖に大橋をかける。 ・諏訪湖から立石公園までロープウェイを設置する。 ・湖畔のトイレが古く、清潔さに欠ける(ユスリカの問題含む)。 ・公衆トイレや案内看板の整備不足。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖畔トイレの改修・民間委託による清掃管理の強化(補助金活用)。 ・バイオトイレ導入など新しい観光用のトイレ設置を検討。 	<p>1) 観光環境・景観・施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖の大橋や、立石公園までのロープウェイ設置については、こうしたアイデアへの官民による意見交換のできる場を作っていくことが大切だと考えている。 ・諏訪湖周辺に限ってはいないが、空き家・移住者・開業に寄り添った支援を行う事は地域経済の発展や、観光振興に非常の有効であると考えている。商工課では「空店舗等活用補助金」を用意している。 ・公衆トイレに関しては、多くの議員が質問で取り上げてきた経緯がある。なかなか改修整備が進まないが、我々としても観光地でトイレが汚いのは致命的だと感じているので、スピーディーに対応していただくよう今後もしっかり要望して行く。かつて質問を通じて要望し、奥霧ヶ峰にバイオトイレを設置していただいた経緯もあるので、地道に進言していく。 ・市民からの意見で、花火大会の迫力が薄れたとの声がある。「花火のまち諏訪」として、今後官民挙げて、日本一を目指して取り組む。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・観光バス駐車場が不足（湖畔・立石公園）。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間駐車場整備への補助制度創設。 ・上社～前宮間の交通網が不便。 ・タクシー乗車アプリが使えず不便。 ・JRで訪れる観光客向けの交通環境が整っていない。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6市町村連携による観光バス運行や交通ルート整備の検討。 ・回遊パスポートやルート案内整備で観光動線を可視化。 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートICの利活用が足りない。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートICを観光・物流の結節点として整備推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅西口から湖畔への案内が不十分。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前のアーケード設置など歩行者動線整備。 <p>3) 観光事業・イベント・魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・イベント情報の発信が不十分。 ・諏訪の食や地元特産のPRが弱い。 ・観光協会の自覚・統一的な運営が足りない。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内マップや観光動線マップの作成。 ・クラウドファンディングを活用した観光事業支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立石公園の渋滞については連休などに警備員を配置、さらにライブカメラの常設を行っている。 ・多市町村連携の公共交通の整備については、12月定例会の代表質問で取り上げた。かりんちゃんバスの4月のダイヤ改正において、一部路線が隣接市に乗り入れる予定となっているが、総じて十分とはいえ、更なる利便性向上を提言していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートICの利活用については、12月定例会の質問で取り上げたが、開通後の車の動きが岡谷JCTの改修工事等で正確に把握出来ていない。しかし、我々も危惧している事でもあり、しっかりと機能を活かせるようハード整備も含め、施策に反映できるよう提言して行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の案内看板等については、過去に一般質問で取り上げた経緯がある。駅周辺の整備が議論される中で、しっかり整備するよう更に提言していく。 ・西口においては、ハード整備を待たずともすぐにもソフト面での工夫はできることから、少しでも使いやすい駅前広場になるよう、イベント開催や暫定的な空間活用を通じて取り組んでいく。 <p>3) 観光事業・イベント・魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪の食に関しては、定例会の質問でも取り上げたが、取組が弱いと感じている。一次産業から盛り上がって行けるよう、部局間を横断した取組みを促していく。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 利用者に配慮した観光動線整備。 ・ 食材や土産品コラボ企画による新たな集客。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花火大会の迫力が薄れた。 ・ 観光客・移住者へのウェルカム感が不足。 ・ 店舗の閉店時間が早く、夜間のにぎわいが少ない。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花火大会の質向上と演出強化、日本一を目指す大会づくり。 ・ 空き家・空き店舗をコンドミニウムや観光施設として再利用。 ・ 映画・聖地巡礼などリバイバル施策で若年層を誘客。 <p>4) 地域経済・まちづくり・広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元産品提供の場が少ない。 ・ 観光だけでなく 6 市町村による広域的な観光展開が必要。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドファンディング等の資金調達の手法を導入。 ・ 広域連携による観光・産業振興の推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家・空き店舗が多く、利活用が進んでいない。 ・ エキまちカイギなどで市が方向性を示さないとの指摘があった。 <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の市による買い取り・民間活用促進。 ・ 若者・移住者に向けた PR とチャレンジの場づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花火については 12 月定例会における質問で提案も含め取り上げた。夏にこだわらず様々な時期に開催できるようハード整備を進め、花火のまちとして誇れるまちづくりを進めたい。 <p>4) 地域経済・まちづくり・広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な観光の展開は現在、諏訪広域連合を中心に実現に向け議論が進んでいる。我々議員も議論の場に加わり、取組みの拡大を支援していきたい。 ・ 地元産品を提供する場が少ない。 ・ 6 市町村による広域的な連携・観光展開は長年の懸案事項であるが中々進まない。総論賛成でも具体的事項になると異論続出でまとまらない現状を官民挙げて打破していきたい。 ・ 空き家対策については本年、総務産業委員会が各務ヶ原市に行政視察へ行った。様々な取組が各地でされているが諏訪市においても効果を発揮できるよう研究を進め、政策提言していきたい。 ・ 空き家・空き店舗が多く、利活用が進んでいない諏訪湖周辺に限ってではないが、空き家・移住者・開業に寄り添った支援を行う事は、地域経済の発展や、観光振興に非常の有効であると考えます。商工課では「空店舗等活用補助金」を用意している。 ・ エキ・まちカイギなどで、市が方向性を示さないとの指摘について、西口においては、ハード整備を待たずともすぐにでもソフト面での工夫はできることから、少しでも使いやすい駅前広場になるよう、
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手・人材（観光・介護・農業）不足が深刻。 〈提案〉 ・市内回遊性を高める交通・施設の一体的整備。 	<p>イベント開催や暫定的な空間活用を通じて取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足については地域に根付く若者が増えるように、シビックプライドや郷土愛の醸成についての取組みをうかがった事がある。諏訪の魅力に関して若い世代も共感を持っている様であるため、さらに深く学ぶ機会を提供することも大事だと思う。様々な方面から学びの場が作れる様、提言して行きたい。 ・担い手の人材（観光・介護・農業）不足が深刻。諏訪地域全域で少子高齢化による、人材不足は深刻であるが、対策として、DX活用による生産性向上のための行政の支援策の更なる充実を図っていく。移住政策、高齢者の労働力活用に対する支援策の充実を図る。
---	---

令和7年度「議員と語っちゃオ!!」報告書

意見交換会名等	令和7年度「議員と語っちゃオ!!」	
日時	令和7年11月8日(土)	グループ名: C
会場	総合福祉センター 交流ひろば	
参加者	<u>市民 5名</u> <u>議員 4名</u>	
	進行係 小泉 正幸	取りまとめ書記 小山 博子
参加議員名	牛山 正 伊藤 浩平	
	意見交換のテーマ 地域の声を形に (あなたの声をお聞かせください)	
(市民) いただいたご意見・ご提案	回答	
<p>1) 声を届ける場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマで、「地域の声」とは、「地域」の範囲が明確ではなかった。狭い意味でとらえると、個別の具体的な話になりかねない。 ・「地域の声」を受け付ける場所がわからない。議員か区長か、役所か。 ・区長制度の区長の位置づけが明確でない。 ・受け手側の情報ツール(紙・デジタル)がばらばらなので、どうやって声を拾っていくのか、方法を明確にしておかないと拾えない。 ・政治談議ができる場所がわからない。 <p>2) 防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震とかが不安。備えるために学ぶ場が欲しい。 	<p>1) 声を届ける場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回のテーマの参考にする。 ・地区により違うが、第一は区長で、第二が議員となる。 ・各区により、事情は違うが、各区の規約により役割が明記されている。 ・デジタル化を推進しているが、現在はその移行期なので、紙とデジタルの両方を使用する。議会では、市民の皆さんとの意見交換の場として「議員と語っちゃオ!!」の開催や直接各議員がお話しを伺っている。行政としては、「ゆかり市長の出張トーク」が開催されている。また、「市長へのてがみ」は、市民が市長に直接意見や提案を届けられ、郵送も可能になっている。 ・議会として検討する。 <p>2) 防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪市の出前講座を活用してください。また諏訪防災ネットワークなどが各種の講演会を開催している。 	

3) 交通の問題について

- ・国道 20 号バイパスの建設推進をして欲しい。
- ・希望として、賑わいを作り出すためにも、桑原区に J R の駅を作ってほしい。
- ・かりんちゃんバスが、来年 4 月から廃止される。チョイソコかりんちゃんの運行は現在平日のみ。土日の運行が無いと生活に困る地域がある。
- ・チョイソコかりんちゃんの台数を増やしてもらわないと、利用者が集中すると、乗車を断られるケースが増えるのではないか。
- ・運転免許証を返納した人が生活に困る。運転免許証の返納を進めるには、足の確保が必要となる。
- ・チョイソコかりんちゃんを試験運行していたときは、かりんちゃんバスも運行されていたので、実際の利用者の把握ができていない。
- ・霧ヶ峰にはバスが走っていない。

4) 区・公民館の問題について

- ・区民以外の方が公民館を借りる場合の使用料が高い。公共施設が廃止されると、居住地区外の公民館の使用が困難になる。

3) 交通の問題について

- ・計画が具体化されており、議会においては、特別委員会を設置し推進している。
- ・ご希望として承わった。
- ・来年、4 月から 1 年間チョイソコかりんちゃんの土日運行を試行する予定となっている。
- ・利用状況により、増車も検討されている。
- ・公共交通機関を活用していただき、チョイソコかりんちゃんについては、利用しやすいように、回数券や、年間パスポート制度の導入を市に要望をしている。
- ・今後の利用状況により、充実が図られるよう、議会として求めていく。
- ・予約が必要ですが、上諏訪駅から霧ヶ峰農場へは、デマンド交通がある。

4) 区・公民館の問題について

- ・ご意見として承わった。各条例館をご利用いただきたい。
- ・総務省が 2014 年から全国の自治体に対して、「公共施設等総合管理計画」を策定するよう求めている。その目的は、老朽化した施設の更新・統廃合・長寿命化を計画的に進めて、財政負担を軽くすることにある。また、各区では規約で使用料が決められている。
- ・諏訪市は 2017 年度から「公共施設等総合管理計画」を進めており、施設の老朽化や人口減少に対応するために、延べ床面積を 10 年間で 10%以上削減する目標を立てている。そのため、廃止された施設があり、その場所を利用していただ方が、他の施設を利用

<ul style="list-style-type: none"> ・区の公民館は、区民がお金を出し合って建てたものだから、使用料の違いは理解できる。 ・小さい区は、公民館を建てる時の負担が大きい。もう少し大きな単位で、市も支援して計画的に作れば、使用料の問題は解決できる。 ・小さき区は役員も出せなくなっている。市が主導して、区を大きくしていかないといけない。政治決断をしないといけない。 ・区に入らない人が増えてきた。 <p>5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地が目立つ。 ・空き家対策が必要。 	<p>しないといけなくなったという経緯がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承わった。各地区の公民館の使用料は、各区で設定している。 ・行政としては、合区などの対策に取り組んでいる。 ・行政としては、合区などの対策に取り組んでいる。 ・非常に重要な課題と認識しており、議会において検討していく。 <p>5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に重要な課題と認識しており、議会において検討していく。 ・総務産業委員会の政策提言予定事項に入っている。今後も研究していく。
--	--